



## ねんがじょう はじ 年賀状はいつ始まったの

### ねんがとくべつゆうびんせいど めいじ ねん がつ はじ 年賀特別郵便制度は、明治32（1899）年12月に始まった

日本では、明治時代になって、新しい郵便制度が始められましたが、明治6（1873）年12月に「郵便葉書」が発行され、人々は、安い料金で、簡単に手紙を出せるようになりました。この郵便葉書は、年賀状としても利用されるようになり、年々、年賀葉書が増え、増えていきました。そのころ、郵便局員が一晩中働いて、年賀葉書を区分けしたという記録が残っています。

当時の年賀状は、年が明けてから差し出されていました。そのため、郵便局では、一時期に集中する年賀状を配達するのに、とても頭を痛めていました。

そこで、明治32（1899）年に、前の年に差し出した年賀葉書を、1月1日に配達する、「年賀特別郵便」制度が作られました。この時から、前の年のうちに年賀状を書き、新年の元旦に受け取るという、年賀状の風習ができたのです。

### せんそう ちゅうだん せんご さい 戦争で中断し、戦後、再スタートした

この年賀特別郵便制度は、昭和14（1939）年まで続きましたが、昭和15年、戦争により中断されました。戦後、昭和23（1948）年に、この制度が復活しました。そのころ、郵便施設は戦争でめちゃめちゃにこわされており、修理にはとてもたくさんのお金が必要でした。そこで郵便の利用を増やして、郵便施設の修理代をひねり出すために、「おとしだまつきねんがはがき しょうわ ねん がつ はつばい せいど げんざい  
年玉付年賀葉書」が昭和24（1949）年12月1日に発売になりました。この制度が現在まで続いているのです。（監修・田代 脩）

